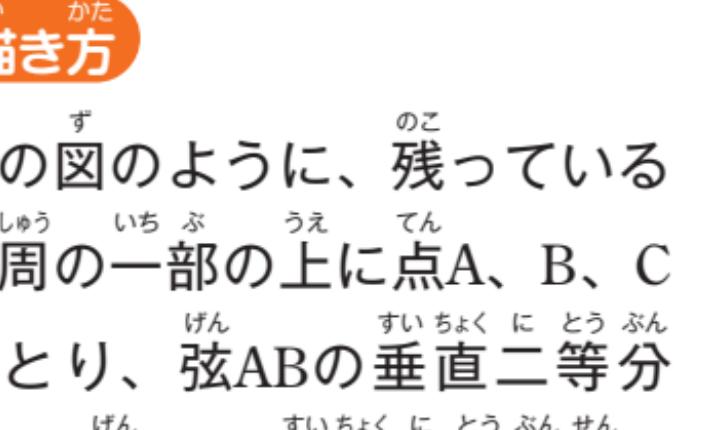




右の図のように、円周の一部だけが残っているとき、円周の残りの部分を、コンパスと定規を用いて、描いてみましょう。



描き方

右の図のように、残っている円周の一部の上に点A、B、Cをとり、弦ABの垂直二等分線Lと弦BCの垂直二等分線Mを、**問題1** の解説のように描きます。

すると、LとMの交点Oが残っている円周の中心になります。

よって、点Oを中心として半径OAの円を描くと、円周の残りの部分も描けることになります。

あるとわかります。

よって、この円周は、中心が点Oで半径がOAの円とわかるので、点Oを中心に半径

OAの円を描くと円周の全体が描けることになります。

証明

すると、残っている円周の中心は、弦ABの垂直二等分線L上にあるし、弦BCの垂直二等分線M上に

